

# 課題に取り組む④

シリーズ～築く～

2010/10/3

# 初代教会が抱えた課題

- グループ間の不公平
  - 執事の選出
- 異邦人クリスチャンも律法を守るべきか
  - エルサレム使徒会議
- パウロとバルナバの対決
  - 別々の行動。後に和解
- 新しく生まれた教会

# コリント教会の課題 I

さて、兄弟たち、わたしたちの主イエス・キリストの名によってあなたがたに勧告します。皆、勝手なことを言わず、仲たがいせず、心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。

わたしの兄弟たち、実はあなたがたの間に争いがあると、クロエの家の人たちから知らされました。

## コリント教会の課題 1:12~13

あなたがたはめいめい、「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」などと言いつ合っているとのことです。キリストは幾つにも分けられてしまったのですか。パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか。あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けたのですか。

# コリント教会に起こった分派問題

- 「わたしはパウロにつく」「わたしはアポロに」「わたしはケファに」「わたしはキリストに」
  - アポロ:「アレクサンドリア生まれのユダヤ人で、聖書に詳しいアポロという雄弁家」<使徒18:24
  - ケファ:使徒ペトロ
  - キリスト派:使徒や指導者の権威を否定して、自主自立を目指した人たち
- それぞれが「勝手なことを言い」「仲たがひ」していた

# 分派の原因

- キリストの教えが確立されていなかった
  - 福音書や手紙は流布し始めていたが、もっぱら使徒たちの教えが中心であった
- コリントはギリシャ哲学発祥の地、ギリシャの中心都市であった
  - 様々な教えや哲学に影響を受けていた
- しっかりした指導者がいなかった
  - 教会の組織ができあがっていなかった

# 今も続く分派問題

- キリスト教会は3つの教派に分かれている
  - カトリック(世界組織)
  - 正教(国単位)
  - プロテスタント
- プロテスタントは多くの教団に分かれている
  - 人間の権威を認めない(聖書のみ)
  - 宣教の歴史と共に様々な教団が生まれた
  - 教えの根幹は一緒(聖書・神・救い)

# 広島市のキリスト教会

- カトリック 7
- プロテスタント 48
  - 日本基督教団 13
  - アライアンス教団 4
  - 聖公会
  - 福音ルーテル教会
  - 日本キリスト教会
  - 改革派
  - 在日大韓教会
  - バプテスト連盟
  - イエス・キリスト教団
  - ナザレン教団
  - インマヌエル伝道団
  - ホーリネス教団
  - アッセンブリー教団
  - サンビ教団



# 広島市のキリスト教会

- 福音自由教会
- 救世軍
- メノナイト・ブレザレン教団
- キリストの教会
- 単立・無教会派
- 一致の働き
  - 広島市キリスト教連盟
    - ・ 元旦礼拝・86集会・一致祈禱会
  - 広島宣教協力会(20数教会が参加)

# 一致するために

- 唯一の救い主、イエス・キリスト
  - 「パウロがあなたがたのために十字架につけられたのですか。あなたがたはパウロの名によって洗礼を受けたのですか。」(13)
- 人間の知恵の愚かさを自覚する
  - 「神の愚かさは人よりも賢く、神の弱さは人よりも強いからです。」(25)
- 一致は神の願いである
  - 「心を一つにし思いを一つにして、固く結び合いなさい。」(10)